

議案第 1 号

令和元年（第 19 期） 活動報告並びに決算報告・監査報告

1. 総括的な報告

コンサルティングエンジニア連盟（以下、連盟という）は、平成 13 年の創立以来、「国の持続的発展にとって社会資本整備は不可欠である」との認識のもと、社会資本の整備推進と改善、これを担当するコンサルティングエンジニアの社会的・経済的地位の向上を目指してきたが、令和元年（平成 31 年）は次の方針を掲げて活動を行った。

- (1) 安全・安心な国づくりのための社会資本整備の継続的推進
- (2) 当初予算の確保と円滑な執行、様々な面でのコンサルティングエンジニアの活用
- (3) 「公共事業調達法（仮称）」制定の推進
- (4) 地域に密着したコンサルティングエンジニアの育成
- (5) コンサルティングエンジニアの著作権の保護
- (6) 適正な利益水準の確保と次世代の担い手育成のための環境整備
- (7) コンサルティングエンジニアの法的根拠の確立

我が国の公共事業は平成 9 年頃をピークに減少を続け、特に、平成 22 年に発足した民主党政権は「コンクリートから人へ」のスローガンを掲げ、公共事業費縮減傾向に更に拍車をかけた。平成 24 年末の衆議院選挙の結果、自民党・公明党連合が政権を奪回、民主党政権の方針は大きく修正され、デフレと円高からの脱却による経済の再生、東日本大震災の復興、来るべき南海トラフの巨大地震や首都圏直下の地震に対する備え安全・安心社会を作り上げるための国土強靱化対策等の強力な推進を掲げ、平成 26 年 12 月の衆議院選挙においては、300 以上の議席を獲得、国民の信任を得ている。

他方、新しい建設生産システムの構築、公共調達の変化、建設関連事業の進め方の変化、建設コンサルタントの役割と活動領域の拡大など、我々を取り巻く環境は急速に変化してきている。この中にあって、建設コンサルタント業界では、長年にわたる建設市場の縮小により、競争激化に伴う低価格入札に起因する経営の弱体化、労働環境の悪化による人材の流失と技術力の低下、将来に展望が開けないことによる担い手不足など、様々な課題を突き付けられた。

このような課題を根本的に解決するためには、連盟の活動方針の一つである「公共事業調達法（仮称）」の制定を推進し、我々の経営を左右する公共調達の仕組みを改革する必要がある。この点に関しては、連盟が支援してきた脇雅史、佐藤信秋の両参議院議員が中心になって取り組まれ、平成 26 年 6 月に公布されたいわゆる改正品確法では、公共工事の品質確保のための担い手の中長期的な確保を基本理念として掲げ、そのために関係する企業が適正な利潤を確保できるようにすることが発注者の責務として明記された。また、「調査、設計業務における技術的能力の審査など」（第 22 条）の条項が追加され、我々が求めてきた調査・設計を含む公共調達法の性質を色濃くしたものとなっている。また、この改正では、調達における技術力による選定の拡大、多様な入札契約

制度の導入・活用などがうたわれ、地方自治体も巻き込み公共事業調達を適正化していく方向性が示されている。更に令和元年には佐藤信秋、足立敏之両参議院議員が中心となって品確法の2回目の改正が行われ6月14日には公布、施行されている。この改正においては、建設コンサルタント業務の主体である我々の設計業務を測量、地質調査、その他の調査（点検及び診断を含む）とあわせ、「公共工事に関する調査等」として法律第2条に初めて追加定義されている。これにより我々の職域が今までの「工事」の付随的取り扱いから「調査等」と初めて法律の対象として明記された。

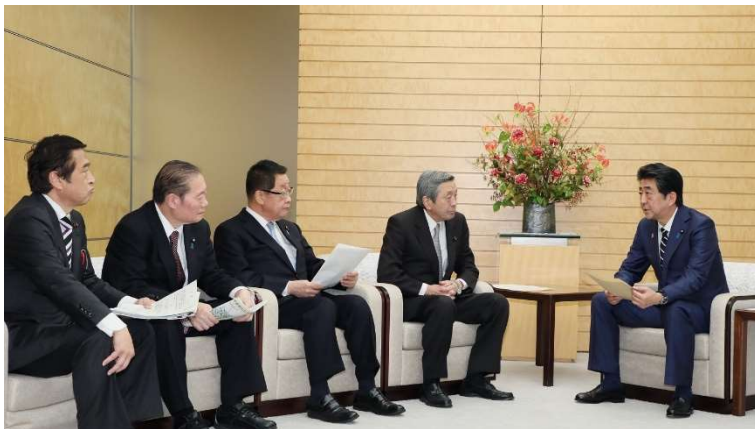
国の公共事業関係の予算については平成9年をピークに減少を続けてきたが、平成25年度にはほぼ底を打った感がある。平成25年には、長年にわたって減少し続けてきた設計業務委託等技術者単価もわずかではあるが増加に転じ、平成26、27年、28年、29年、30年、そして31年にも都合7年間継続して単価のアップが図られた。平成31年2月には設計業務において平均2.6%の単価アップが図られた。これも連盟の支援する佐藤・足立両先生のご努力があって実現したものである。

こうして令和元年7月には、参議院議員選挙において佐藤信秋候補が前回を上回る高位当選を実現し、連盟の会員数も連盟創設以来の最大値となり、こうしたうねりを背景とし、連盟新事務所の運用とも相まって、我々連盟の存在意義の認識が大いに進んだ感があり、その結果、我々の要望が少しずつではあるが、実を結び始めていることを実感した年であった。

ここに至ったのは、会員各位のご理解ご支援のお蔭であり、様々な場面で精力的にご支援いただいた皆様方に対し、心より御礼申し上げる次第である。

令和元年も8月の九州北部の大雨による浸水被害、9月の台風15号による千葉県を中心とした暴風雨被害、10月の台風19号そして続く台風21号の大雨による河川堤防の決壊被害等、引き続き多くの自然災害が発生している。この内、台風19号による広範囲な記録的大雨により国直轄で12か所、全体では140か所の河川堤防が決壊するなど、我が国国土の脆弱性、インフラ整備の必要性が改めて認識され、本年も連盟の方針の最初に掲げた「安全・安心な国づくりのための社会資本整備の継続的推進」を更に強化していく必要があると感じている次第である。こうした折、令和元年11月5日に開催された参議院国土交通委員会の席上、足立議員から「コンサルタントおよび測量設計業」を名指して、その災害発生時の初動対応での貢献および厳しい職務環境について青木国土交通副大臣に質問があり、同副大臣から今回新たに我々の職域が品確法の対象となったこともあり、3月納期集中の分散化および地方自治体へのプロポーザル方式の更なる活用などの取り組みを行い、魅力ある産業として若者を始めとした担い手確保の取組を加速する旨、回答を頂いている。

連盟は今後とも上記を含め様々な課題について立法・行政府に働きかけていく所存である。皆様方におかれては、なお一層のご理解ご支援をお願いしたい。



自由民主党国土強靱化推進本部による決議の手交（左から
2人目が佐藤信秋議員 令和元年11月1日）

※以下に掲載する佐藤議員、
足立議員に関する写真、画像
は、国会参議院審議中継、両
委員の活動ホームページや
発行冊子などによります。



参議院国土交通委員会において災害調査で活躍する建設コ
ンサルタントについて質問に立つ足立敏之議員（令和元年
11月5日）

2. 個別の活動実績

平成31・令和元年の具体的な活動は次のとおりである。

(1) 総会・常任理事会

第18回通常総会

日時：平成31年2月19日（火）10：30～11：00

場所：グランドアーク半蔵門 華の間

主な議題：平成30年活動報告並びに平成30年収支報告、平成31年活動方針並びに
平成31年予算の承認、役員選出、連盟規約改訂、連盟事務所移転

要旨：

平成30年の活動報告・収支報告および平成31年・令和元年の活動方針を承認

会員1,550名、口数2,217口、会社158社はいずれも過去最高

連盟規約改訂 主な規約改訂のポイント次の4項目

1. 連盟総会を位置づける
2. 常任幹事の名称を支部長に変更する
3. 支部幹事の選任は支部長が行う
4. 役員会の構成メンバーに監査役を加える

連盟事務所の下記への移転を報告（平成31年2月に移転）

新住所 〒101-0075 東京都千代田区三番町 7-13 三番町パークマンション 306号室



平成31年2月の通常総会で挨拶する大島 CE 連盟会長



通常総会全景



左写真：総会における先生と会長の握手
左から足立議員、大島連盟会長
佐藤議員、村田建コン協会長

第1回役員会

日時：平成31年2月19日（火）13：00～15：00

場所：グランドアーク半蔵門 5F シンフォニー

主な議題：連盟の現状と変遷、平成30年末の会員加入状況、平成31年活動方針検討、第25回参議院議員通常選挙佐藤候補の応援等（会）

要旨：

会員増強の目標を1800名、2500口に決定。

支部報告（平成30年活動、平成31年活動方針、目標達成策、建コン協との連携）

会員増強の具体策（未会員会社への再度入会の要請、建コン協理事会社の幹部への口数増加の要請）

佐藤候補の応援対応

第2回役員会

日時：令和元年5月15日（火）15：00～17：00

場所：グランドアーク半蔵門 5F シンフォニー 6F 和

主な議題：会員加入状況、平成30年本部・支部活動報告、夏の参院選、佐藤候補の応援

要旨：

佐藤後援会事務所中神副代表による挨拶と状況説明

重点モデル支部として近畿・九州支部を選定

支部活動報告（活動状況、目標達成策、佐藤候補高位当選の具体策、建コン協連携）

佐藤候補の高位当選への対応（選挙運動用ハガキ、選挙ポスター、支部長推薦状）

連盟規約の改訂（顧問設置、本部幹事を役員会メンバーへ）

年末の支部会合等への連盟アピール

(2)講演会

第1回時局講演会（総会後講演会）

場所：グランドアーク半蔵門 華の間

日時：平成31年2月19日（火）

11:00～11:30

講師：足立敏之参議院議員

演題：公共事業予算の確保、インドネシア地震現地調査

講演要旨：公共事業予算の推移と政権、GDP、高速道路の整備水準、平成31年度予算、品確法改正における調査・設計の位置付け、インドネシアスラウェシ島地震被災現地調査

11:30～12:00

講師：佐藤信秋参議院議員

演題：12年間の活動

講演要旨：品確法改正の精神、低入札調査基準の設定、技術者単価の推移、働き方改革における公務員の超勤、国土強靱化の経緯・方向、建設コンサルタント業法の必要性など



2019年2月19日 コンサルティングエンジニア連盟総会・時局講演会

左：佐藤議員 右：足立議員

(3)意見交換会

第1回意見交換会（コンサルティングエンジニア連盟総会后）

日時：平成31年2月19日（火）12:00～13:00

場所：グランドアーク半蔵門 シンフォニー

出席：佐藤信秋参議院議員 同議員富山秘書

足立敏之参議院議員松井秘書

建設コンサルタンツ協会 村田会長、高野副会長、連盟役員ら17名

内容 建設コンサルタントの現状と両先生へのお願いについて

北海道支部 災害時対応、3か年緊急対策、担い手減少、ダンピング防止等

関東支部 地方公共団体の建設コンサルタント登録制度の活用、業法の制定等



総会後の意見交換会での挨拶 左：大島連盟会長 右：村田建設コンサルタンツ協会会長

第2回意見交換会

日時：令和元年11月20日（水）12：30～13：00

場所：グランドアーク半蔵門 3階 ドパーズ

出席（27名）：

佐藤信秋参議院議員・富山秘書 足立敏之参議院議員・岡積秘書

建設コンサルタンツ協会（18名）

高野会長 野崎・酒井副会長 常任理事11名 監事2名 ほかに2名

コンサルティングエンジニア連盟（5名）

大島会長 松村幹事長 磯山会計責任者 松原会計担当 鷺澤・和作本部幹事

内容 建設コンサルタントの現状と両先生へのお願いについて

佐藤議員 品確法の改正、災害等臨時の必要時に労基法第33条第1項に基づく許可等の取扱い、3カ年の緊急対策期間の再延長

岡積秘書 11月5日の参議院国土交通委員会における足立議員の質疑

足立議員 ハッ場ダムの効果、タイムラインの内閣府主導、河川基本計画の再策定

高野会長・大島会長 品確法改正等への御礼と9項目の要望書を両議員へ提出

意見交換会全景



佐藤議員のご挨拶



足立議員のご挨拶



コンサルティングエンジニア連盟及び建設コンサルタンツ協会から両議員へ要望書を提出
 左側：大島連盟会長 右側：高野建設コンサルタンツ協会会長

建設コンサルタンツ協会、コンサルティングエンジニア連盟からのお願い 9 項目

1. 安全、安心、活力ある国土づくりに資する社会資本整備の中長期計画の策定
2. 「防災・減災、国土強靱化のための 3 か年緊急対策」の延長と令和 2 年度の公共事業予算の増大確保
3. 中長期計画に基づいた設計ストックの安定的確保
4. 業務発注にあたり技術力による選定の地方自治体での普及、徹底
5. 設計業務委託等技術者単価の更なる引上げ
6. 建設コンサルタント業務低価格調査基準のアップ
7. 働き方改革に資する計画的な業務発注と適切な工期設定、納期の平準化
8. 生産性の向上に向けた i-Construction の推進
9. 頻発する災害に対応するための制度対応

(4)連盟幹部会の開催

第 1 回幹部会 日時：平成 31 年 3 月 29 日（金）15：00～17：00

議題：H31 活動方針、H31 年間活動予定、支部総会時の連盟アピール、第 2 回役員会の日程、佐藤候補の参院選応援他

議事要旨：

未会員会社への再要請の実施、建コン協理事など会社の幹部への口数の増加要請、重点強化モデル支部の設定（近畿、九州）

連盟と建コン協人事の連携の仕組み作りを進める

連盟の情報発信の検討を進める

広域・地域コンサルタント役職者への口数の目安を設定する

佐藤候補の高位当選へ向けての応援（建コン協との連盟、後援会への入会など）

第 2 回幹部会 日時：令和元年 6 月 3 日（月）15：30～17：30

議題：会員口数の増加方策、第 2 回時局講演会、佐藤候補の参院選応援

議事要旨：

会員増強強化支部（近畿・九州）の対策検討

入会継続・会費振替の自動化検討

参院選応援へ国土クラブ入会要請と選挙ハガキ・選挙スケジュールへの対応

第3回幹部会 日時：令和元年8月20日（火）15：00～17：00

議題：会員口数の増加方策、参院選結果、両議員への要望、第2回時局講演会

議事要旨：

入会要請結果、会員増強2支部への増強要請状況

入会継続・会費振替の自動化について調査結果・方向性検討

支部総会等での支部長による連盟アピール内容

参院選の選挙活動の経緯と投票結果総括、両議員への要望書の項目見直し

第4回幹部会 日時：令和元年10月2日（水）15：00～17：30

議題：会員口数の増加方策、参院選結果整理、両議員への要望・献金、足立議員応援

第2回意見交換会（時局講演会も実施）

議事要旨：

令和元年会員口数目標達成と令和2年目標設定

入会継続・会費振込の自動化の調査結果と自動化への継続検討・現状改善検討

両議員への献金の方法、参院選結果整理、足立議員を励ます会の状況

第2回意見交換会（第2回時局講演会も実施）の日程

令和元年事業決算と来年の事業計画の見通し

臨時幹部会 日時：令和2年12月10日（火）16：00～17：00

議題：年始年末の連盟アピール、国土政策研究講演会、令和2年目標達成、連盟関東

支部の会員増強策、令和元年連盟通常総会

議事要旨：

令和2年目標達成へ向けて、会員管理を能動的に行い、関東支部のうち特に東京都の未会員会社への入会要請を強化する

令和元年連盟通常総会の懸案事項、年次報告第2号の概要を確認

第5回幹部会 日時：令和2年1月17日（金）15：00～17：00

議題：令和元年活動報告、令和2年の活動方針・活動予定、連盟総会他

議事要旨：

令和元年の会員状況と令和2年の会員増強策の検討

年次報告の吟味、通常総会・時局講演会・意見交換会・役員会の予定確認

(5) 対外活動等

5月21日（火） 佐藤参議院議員国土セミナー出席（連盟幹部）

5月23日（木） コンサルタンツ協会定時総会にて大島会長連盟アピール

6月26日（水） 佐藤のぶあき総決起大会出席（連盟幹部）

7月4日（木） 佐藤のぶあき立会演説会出席（連盟幹部）

8月28日（水） 佐藤参議院議員、足立敏之参議院議員表敬訪問（協会、連盟）

品確議連総会（第九回）出席（協会、連盟）

11月18日（月） 足立としゆき君を励ます会出席（連盟幹部）

- 11 月 連盟の目的実現のため佐藤信秋参議院議員に 250 万円、足立敏之参議院議員に 250 万円の支援を実行
- 12 月 24 日（火） 脇元参議院議員、足立参議院議員表敬訪問（協会、連盟）
- 12 月 26 日（木） 佐藤参議院議員表敬訪問（協会、連盟）

(6)会員募集活動

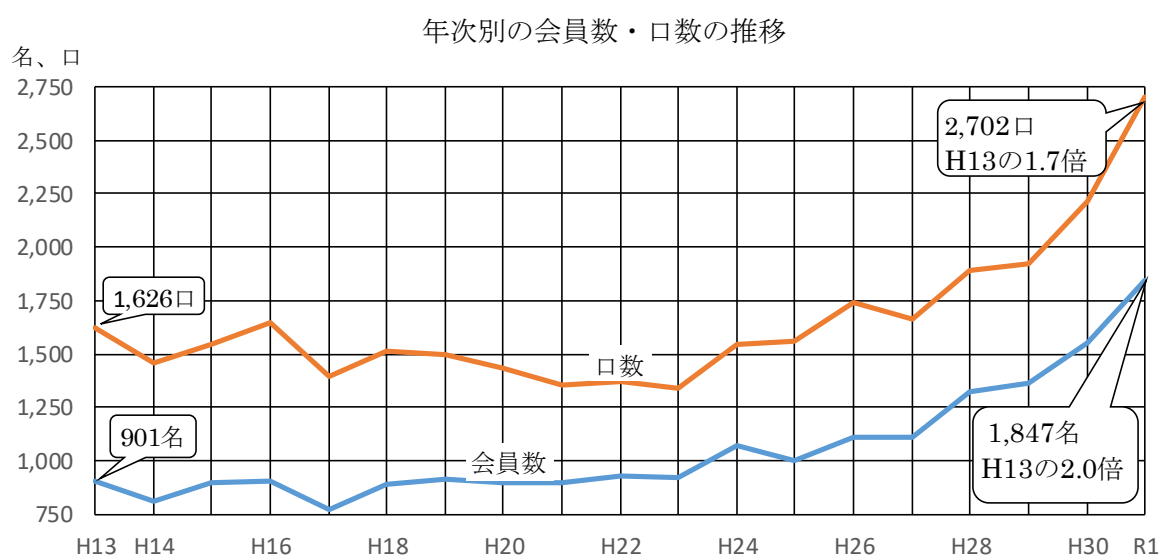
平成 31 年は、7 月に参院選を控えて組織強化を図るべく、4 月に 318 社に対して会社規模などを考慮した入会依頼を行った。7 月の選挙直前に 100 社余りに、さらに、9 月に 295 社に対して職員数と口数の目安を示しながら入会をお願いした。加えて支部増強対象支部として、近畿支部、九州支部を選定し、特に在京大手の会社に 2 支部への入会をお願いした。

各支部においても、会員数と口数の目標に沿って、入会促進の活動が実施された。その結果、会員数、口数、会社数の大幅な増加が図られた。

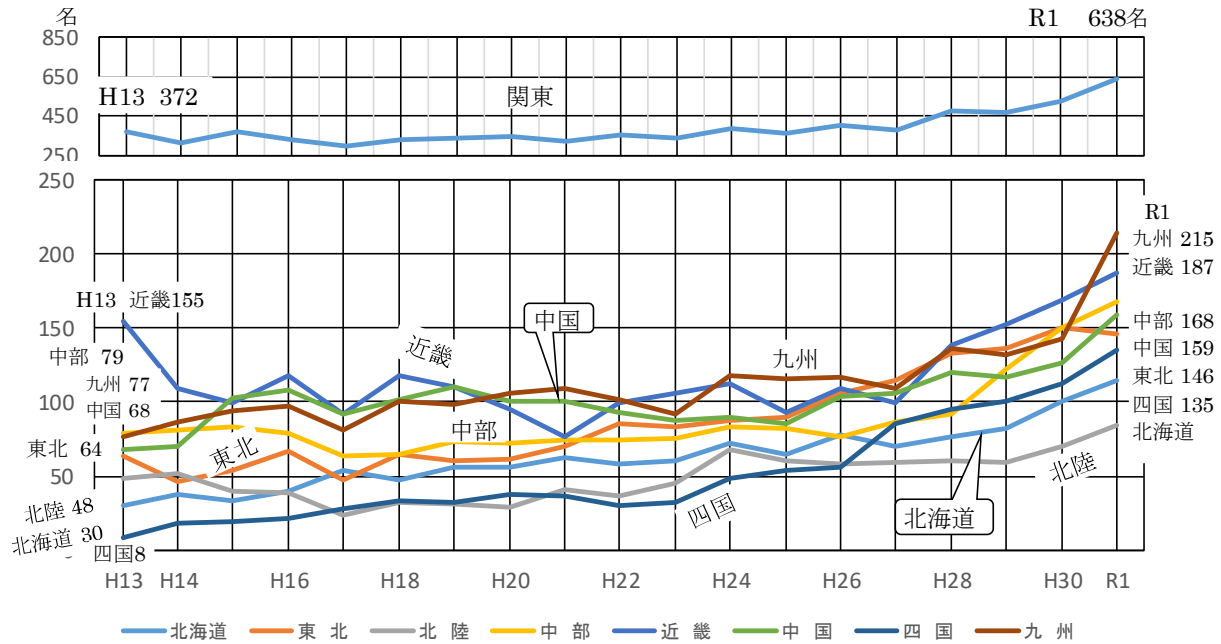
令和元年は、平成 30 年に続いて目標を大幅を超えて達成した。平成 13 年の連盟創立以来の最大会員数、最大口数、最大会社数になって、全支部において既往最大を達成した。創立時から 19 年間で会員数・会社数が 2 倍、口数が 1.7 倍となった。

しかし、一方で会員 1 名当りの口数は、支部によって差がありますが、全体に 1.2 ～1.3 口と低減傾向にあります。以上の成果は連盟支部長および幹事の方々の精力的な活動と、皆様方のご理解によるものであり、会員の皆様方に改めて感謝申し上げます。

会員数・口数の推移



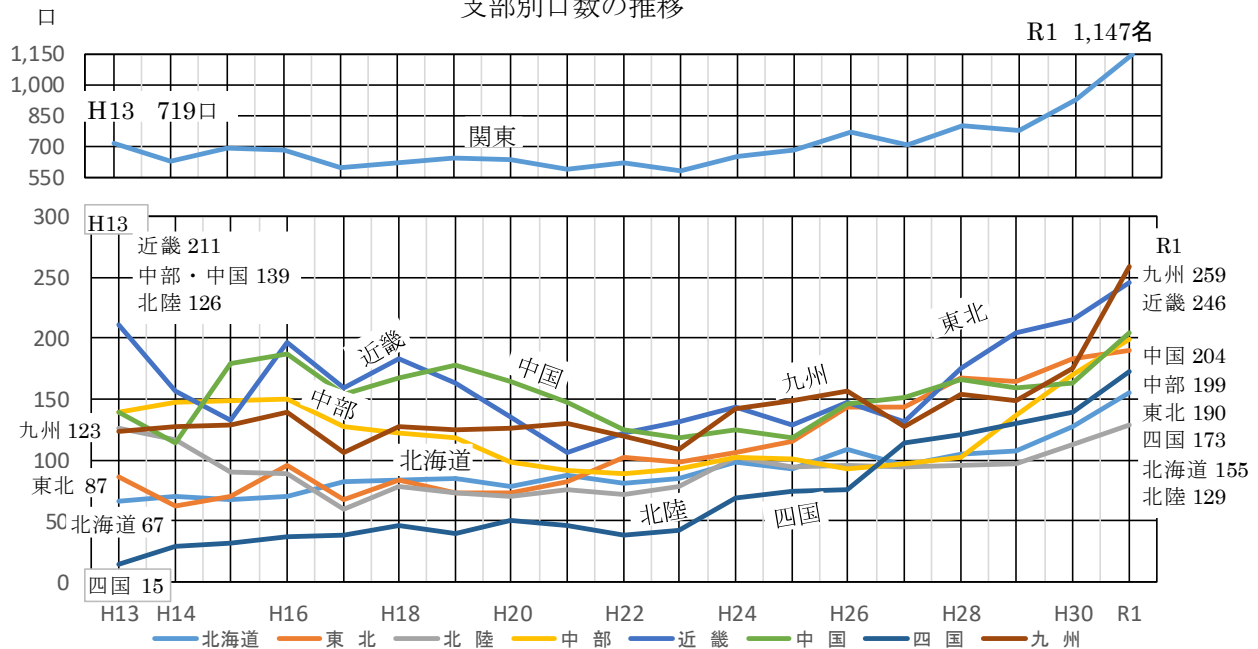
支部別会員数の推移



支部別会員数のH13とR1の比率(R1/H13)

北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	合計
3.8	2.3	1.7	1.8	2.1	1.2	2.3	16.8	2.8	2.0

支部別口数の推移



支部別口数のH13とR1の比率(R1/H13)

北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	合計
2.3	2.2	1.6	1	1.4	1.2	1.5	11.5	2.1	1.7